

ステークホルダーの皆さまへ

■ ステークホルダーの皆さまへ

ステークホルダーの皆さまへ

さらなる 飛躍への挑戦

IoT時代の幕開けを迎え、
企業価値の最大化を目指す



代表取締役会長
常石 哲男

代表取締役社長・CEO
河合 利樹

株主、投資家の皆さまをはじめ、東京エレクトロンのすべてのステークホルダーの皆さまには、日頃より多大なるご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

2016年は、スマートフォンにおける半導体搭載量の増加やサーバーの高速化などの需要を背景に、半導体メーカーの積極的な設備投資がなされ、当社が参入している半導体前工程製造装置市場は大きく成長しました。

このような市場環境のもと、当社の2017年3月期の業績は好調に推移し、売上総利益率や営業利益率、当期純利益はいずれも過去最高を達成しました。1株当たり年間

配当金も、過去最高の352円となりました。ただし、これも成長していくうえでの一つの通過点だと捉えています。

半導体およびディスプレイ業界は、IoT (Internet of Things) の本格化により一段上の成長軌道に乗り始めています。当社では、今後の業界の展望と事業機会を改めて見極め、2020年3月期までの中期経営計画における財務モデルの見直しを行いました。新たなモデルでは、より大きな市場規模を想定し、1兆円規模の売上といっそうの利益率向上を目指しています。

「革新的な技術力と、多様なテクノロジーを融合する独創的な提案力で、半導体産業とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー」というビジョンに基づき、中期経営計画の達成、そしてさらなる持続的な企業価値向上に向けて、挑戦を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。